

SKI Instructor of JAPAN



INSTRUCTOR

第39号

日本スキー指導者協会会報

2023年10月1日発行

巻頭言



会長 坂本 祐之輔

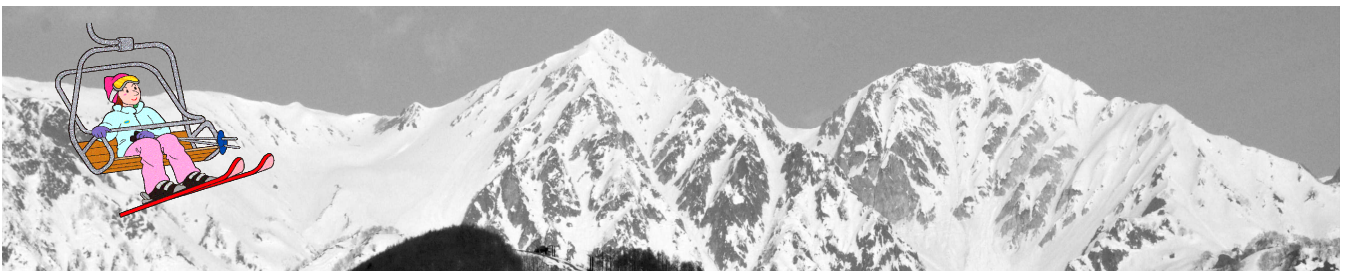
秋冷の候、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

指導者の皆様には日頃より日本スキー指導者協会に対し、温かいご指導ご鞭撻をいただいておりますとともに、スキースポーツの普及振興、また地域のリーダーとして郷土の発展にお力を注いでいただいておりますことに心から感謝申し上げます。

3年半にわたる新型コロナウイルスも今年5月には感染症法上の位置づけが5類に移行し、沈静化を見せておりますが、いまだに第9波が懸念されている状況です。このような中、徐々に日常が戻り各種イベントの再開、外国人観光客の復活など賑わいを取り戻しつつあります。しかし、世界の気象環境は地球温暖化が進み、この夏は、北半球が酷暑にみまわれ東京では猛暑日の年間日数記録を更新しました。これは、予想以上のペースで温暖化が進み、私たちの生活のあらゆる面にふりかかっています。各国では地球温暖化防止のため、太陽光、風力、熱などの再生可能エネルギーの活用や温暖化ガス排出削減のためCO₂削減の取り組み

に着手しています。このような取り組みが遅ればエネルギー供給の途絶、という深刻なリスクが増大しインフレが急激に押し上げられ、巨額の債務を抱える日本にとって、エネルギー危機は死活問題となるのではないのでしょうか。日本の四季がなくなるのではないかと心配される声も聞こえてきます。自然に恵まれた美しい日本を守っていくためにも、私たちは、雪の恩恵に対する謙虚さを自省すると共に、異常とも思える自然現象の前では私達人類が如何に無力であるかを悟り、「シンク・グローバリー、アクト・ローカリー」の言葉のように、私たちが今できることを日々の行動に生かしていかなければならない、と考えます。そして、やがて訪れるこの冬にはスキーシーズンが到来するでしょう。待ちに待った白銀のゲレンデを多くの仲間と共に滑走する日を夢に！

結びに、指導者の皆様の今後ますますのご健勝とご活躍をご祈念申し上げまして、ご挨拶とさせていただきます。



先達の熱い思いに再起

40周年記念号に向けて

INSTRUCTOR 編集委員

注) 役職は執筆当時 引用:創刊号、30周年記念号

相互の意思の疎通と情報通達、コミュニケーションを計る上でその役割は大である

いろいろな経緯があったが、とにかく全国の基礎スキー指導員を横に繋ぐ組織が出来たことはまことに喜ばしいことである。中略 これからの指導員会の方向として、SAJが必要と思っても、やり難いこと、やり得ないこと、もしそんなものがあるとするれば、突っ支い棒である我々の力でやれるような方向に協力する役割を持ちたいと考えており、メリットは?と叫ぶ人のためにも具体的なことを計画しつつあり時間はかかっても会として一歩ずつ進んでいく考えである。

日本スキー指導員会 会長 柴田 信一

さらに拡大発展のためご尽力を

現在、社会全体が少子高齢化、情報化、そして楽しみの多様化などスノースポーツを取り巻く環境は厳しいものがあります。このような著しく変化する環境の中、スキー活性化を図る上でも日本スキー指導者協会の役割は大きいものがあります。今後とも貴協会におかれましては、生涯スポーツとしてのスキーを、さらに拡大発展のためご尽力を賜りますようお願い申し上げます。

公益財団法人全日本スキー連盟 会長 鈴木 洋一

愛するスキーのために。

SAJは資格者認定だけでなく、より緊密に指導者協会とコンタクトをとり低調なスキー界をリードするべきと考えております。現今、有力なスキー県をはじめ幾つかの県が脱しているのは誠に憂慮のことで、是非とも復興の行動を起こして欲しいと考えております。

顧問 林 権一

日本にこの素晴らしい四季が続く限り、このスキー文化を後世の若者達に是非とも引継いでゆきたいと思う。

私は、いつもフリチョフ・ナンセンの紀行文「グリーンランド横断記」前文を想い浮かべ、スキーの原点に立ち戻ることになっている。

雪山という大自然の中に、次世代の若者達を誘いあの感動を与え、より豊かな人生の一部に寄与出来たらなあ、と自らの人生を振り返り痛切に感じている。

このことがスキー界活性化の原動力であり、スキー文化の継承になることと確信している。

副会長 渡辺 忍

スキー指導者は、スキーの素晴らしさを「教え、導く」伝道者でありたい

今まで、スキー場の中でスケールの小さい「教える」という色の濃さがあったように思うのです。

スキーは自然の中のもの、雪との戯れから始まりゲレンデ狭ましと思う存分滑り込んだり、仲間とのトレーンでの滑走の楽しさ、コブや深雪への挑戦。

ポールくぐりは、草大会やマスターズ大会にもつながり、山岳スキーツアーなど、夢に向かって進んで欲しいものです。

特別顧問 丸山 庄司

温故知創

この題名は平沢文雄さんがスキー研究者、スキー指導者としての自分に課した指針です。日本を含むスキー後進国はスキーの技法、技術に神経質すぎる傾向があります。スキーの運動力学の一面のみを追求して、動く運動体のルーツ的力学を忘却している向きがあるようです。スキー先進国の歴史的影響を一元的に踏襲しているものも、あるようです。

スキー運動は自然への対応としてもっと自由奔放でありたいものです。

名誉会長 菅 秀文

お互いの友好関係、情報交換を重要視

各県の難しい事情や、さらに方向考え方に温度差があることがネックと思われるが…。

今後の発展を期待したい。

福島県スキー指導員会 副会長 白根 一英

スキーの赤い糸をしっかりと保持継承されんことを心より願う

温故知新というが、この日本スキー指導者協会にはその前身である指導員会時代から、真のスキー(いわゆるシーラウフェン)を求めて柴田信一先生、藤巻文司先生、中沢清先生、大熊勝朗先生、松浦益司郎先生、田英夫先生等など幾多の大先輩の筆舌に尽くせない努力の積み重ねがある。

願わくばこの協会がスキーの赤い糸をしっかりと保持、継承されんことを心より願うものであります。

IVSI(国際スノースポーツ指導者連盟)

副会長 福岡 孝純

会報 INSTRUCTOR 発行履歴

1984 1号 (S59/12/25) 全日本スキー連盟評議員会がSIJを承認 S59/11/25
2002 20号 (H14/11/20) 20周年記念号併合
2014 30号 (H26/10/1) 30周年記念号併号
2024 40号 (R6/10/1) 40周年記念号併号<発行予定>

スキーとケガ

「しりもち」と「つんのめり」は最悪です

千葉県 松戸市スキー連盟
佐藤 雄一郎

スキー板は、短くなって回転がしやすくなり、ビンディングは年毎に改良されて、安全性を高めている。スキー靴は新しい素材と内部構造とで足を守っているのだが、スキーにはケガがつきまとう。

スキーヤーが転ぶからである。転ぶことは恥ではないし、それどころか、転ぶことを恐れているのはスキーは上達しない。子供たちと遊ぶときに、私は、「3,000回、転んだので、上手くなったんだよ」と言っているが、これはひとつの真実である。

良い転び方は、「左右のスキーの外側におしりから落ちること」と実演する。

平地で起き上がるのは難しいので、ビンディングを外してから起き上がり、スキーをつけ直す。「百聞は一見にしかず」で、子供たちは納得する。急斜面で転ぶと、ビンディングは自動的に解放されてスキーが身体から離れ、足を守る。身体への衝撃は雪の斜面でいくらか吸収され、また身体がズリ落ちることで和らげられる。こうして、大きなケガとならないことが多い。

ところが、平坦な雪面や緩斜面で、「しりもち」や「つんのめり」転倒すると、ビンディングは、構造上解放されないことがある。そのため、手足の一部に大きな負担がかかってしまう。

左右のスキーの間に「しりもち」をつくると、足首の捻挫、下肢（スネ）の脛骨・腓骨の骨折、後頭部の打撲などが生じる。

また、同様にして「つんのめり」と手首の捻挫や骨折、肩関節の脱臼、顔面裂傷などが生じる。スキーでは、まづ「転び方」を学んでから滑り出したいと私は思っている。

1) スイス・アルプスで脛骨を骨折した女性は斜面で「しりもち」をついたことが原因であった。

彼女は、雄大な眺めを楽しみながら滑っていたのだが、青空に舞う赤いヘリコプターに目を奪われていた。そのヘリに自分も助けられる羽目となった。

「せっかくヘリに乗れたのにベットの上で、地上が見えなかった」また、「足でよかった!」という感想であった。

彼女は、ピアノの教師で、帰国後車椅子でお弟子さんの発表会へ駆けつけた。明るい、ユニークな先生であった。

2) 準指受検クラスの講師は、国体にもエントリーしていた女性であった。彼女は、本番滑走中、アイスバーンで転び、下肢に大ケガをした。スキーが外れなかったのである。コースの凸凹でビンディングが容易に解放されないよう、締め付けたのがアダとなった。

後日、研修会に顔を見せた彼女は「私の足は、筋金入りよ!」とメタルでつないだ足を誇った。

スキーに生きる逞しい女性であった。

3) 学生選手権で活躍した友人がいた。就職した冬も彼はスキーに出かけたが、転んで足を骨折した。

上司が病院に見舞いに来て「おまえは、これからスキーをとるか?仕事をとるか?」と尋ねた。彼は当然ながら仕事をとり、スキーとの縁を切った。

ある年、我が家の電話が鳴り「定年退職したのでもう一度、スキーをやりたい。つきあってほしい」と。私は彼のスキーに同行した。40年余りのブランドは大きく、スキーも、靴も、スタイルもすっかり変わっていたので、彼は大いに戸惑った。

初日はコワゴワと、2日目はユックリと、3日目になってようやく彼本来の滑りとなった。スキーのバランス感覚を、彼の身体は覚えていたのである。

4) これは、あるスノーボーダーのケガとその半生記である。彼女は、大学1年の冬に、はじめてスノーボードにチャレンジした。スノーボードは両足が固定されているので、滑走を止めるには身体のバランスが重要だが、彼女は、まだ止め方を知らなかった。自分から前後に転んで止めていた。快晴で風のないグレンデは、新雪でほんのりと化粧されていた。彼女は、コースの下まで滑って、腰を落として止まろうとした。ところが、新雪の下には平たい岩が隠れていた。

腰をしたたかに打った彼女は、立ち上がることも出来なかった。腰椎がダメージを受けて、足はもう動かなかった。父母は、あらゆる手を尽くしたがどうすることも出来なかった。

彼女は、くじけずに前へと進んだ。数年後、社会に出て障害者の雇用施設で働いていた時、ひとりの健康な青年と出会った。

彼は、義務兵役の代わりに、国が認めた社会施設で一定期間奉仕するという選択をした、そこで巡り会った知的で美しい女性に彼は心を奪われた。その恋は実った。

風薫る春、車椅子の花嫁は、モルダウ川の流れのそばで、美しく花束に包まれた。招かれて日本の友人も出席した。ハネムーンは日本、季節は秋、やがて女の子の母となった。彼女は、幸せいっぱいであった。彼はサラリーマンとして働きながら、家事、育児も分担した。彼女は在宅勤務の仕事の中で、その才能と人柄を認められて相応の地位と収入を得た。

彼らの住居は、郊外の中層のアパートメントで、予め障害者向けとして設計されており生活上の不便はなかった。

ところが、彼は、超多忙な生活の中で居住地内の若い女性と識り合った。彼女は、それを悟り、悩んだ。熟考の末、彼に新しい途を許して、二人は別れた。娘はまだ幼く、母の手足とはならなかった。

やがて年月は娘を成長させた。彼女は娘と共に日本を再訪した。

京都を歩く着物姿の美しい我が子に、彼女は心の安らぎを取り戻したのである。

5) これは、ケガではなく、私が出会ったスキーヤーのなかで最も記憶に残る人のことである。その人はオリンピックの選手ではないし、世にその名を知られたスキーヤーでもない。ツエルマット（スイス）の宿のアルジである。

彼は、訪れた日本人達の滑りを趣味のカメラで撮影しようとした。マッターホルンを背にした幅の広いコースとはいえ、相当なスピードで後ろ向きに滑りながら、前にカメラを構えたのである。

“背中に目がある!”私たちは度肝を抜かれた。永世中立の国「スイス」だが、男女ともに短いながら兵役の義務がある。遊びではなく、スキーを自由自在に操れないと“良いヘイタイさん”になれないという。

ライフルの代わりにカメラを手にして、いつまでも平和であって欲しいと私は願った。

【北海道】北海道スキー指導者協会
「2024年度 北海道スキー指導者協会 報告」

会 長 三 浦 光 男

3年続けてコロナ禍により、各事業は中止してきましたが、今年に入り新型コロナ感染も激減した為3月の「春スキーの集い」を4年ぶりに旭川で実施致しました。

また5月には、感染分類が5類となり規制が緩和された為、7月に「集い札幌大会」をアサヒビール園にて盛大に開催する事が出来ました。8月には、定例理事会、代議員会・加盟団体会長会議を対面で開催致しました。今年度は役員改選でほとんどが留任で顔ぶれは下記の通りです。

この3年間、コロナ禍の影響で、社会情勢、スキー界の情勢、そして個人の考え方も大きく変わったように思います。つまり集团的行動よりも個々の行動が多くなってきたように思われます。身近なスキー界で言えば、必要なことはインターネットを検索。SAJ登録、研修会参加申込み等はシクネットで個人が行う。理論研修はe-ラーニングを見

る。情報の伝達は電話ではなくメールが主で、大変合理的になってきましたがその反面、人との接する機会が少なくなってきました。指導員会の必要性が薄れてきているように思われます。各指導員会の集合体が本指導者協会です。

本協会の加盟団体数は、全盛期73団体8244名でしたが現在は37団体3240名に減ってきております。

昨年70周年を迎えた本協会、本来の目的である会員相互の親睦と事業を遂行するために、何をしていかなければならないのか、理事会、代議員会、会長会議において討論されました。

大きな課題を抱えてアフターコロナで2024年度がスタートしました。いずれにしても今後とも上部団体との連携、会員相互の連携、スキー界の発展に努力していきたいと思っております。

2024 - 2025 北海道スキー指導者協会
役員名簿

役 職	氏 名	所 属 団 体
名 譽 会 長	藤 島 勝 雄	苫 小 牧
顧 問	小 林 俊 一	札 幌 手 稲
々 々	登 山 藤 旭	旭 川
々 々	加 藤 旭 二	旭 川
会 長	三 浦 光 男	札 幌 南 館
副 会 長	岡 島 俊 修	函 館 川
々 々	速 水 裕 一	札 幌 白 石
々 々	岡 国 廣	上 砂 川
理 事 長	伊 東 恵 一	札 幌 南
総 務 部 長	小 松 原 純 子	札 幌 厚 別
副 総 務 部 長	小 萬 崎 由 美	札 幌 豊 平
総 務 部 員	々 々 山 谷 重 久	北 見 市 牧
々 々	々 々 柴 佐 久 彦	苫 小 別
々 々	堀 木 江 和 久	北 見 地 区
々 々	佐 久 間 政 光	稚 内 蘭 川
総 務 部 員 長	上 室 里 谷 直 志	室 長 旭 川
副 事 業 部 員	手 木 越 坂 世 文	函 館 衛 隊
副 事 業 部 員	永 山 洞 本 村 一 二	道 自 衛 隊 石 狩 中 央
々 々	中 望 鍛 冶 治 太	札 幌 西 手 稲 平 田
々 々	成 北 谷 喜 彦	札 留 幌 豊 清
々 々	中 永 金 繁 孝	札 幌 北 庭 山 東
々 々		札 栗 光 豊

◇3月 春スキーの集い



1班 練習風景



2班 練習風景



旭川 丸さんの仕切りでシーハイル

◇7月 集い札幌大会



集合写真



乾杯 藤島名誉会長



抽選会



アサヒビール園にて

【岩手県】岩手県スキー指導員会

事務局 石川 明

県スキー連盟と当会との共同製作による冊子「いわてシーハイル」を作製
S K I 及び S B 指導者研修会開催時に配布しました。

この冊子は、教育本部事業から県連が係る各種競技会成績なども掲載し、各方面に広く頒布し多くのスキー・スノーボード愛好者に受け入れられていると自負しております。かかる印刷経費のうち指導員会では、1冊あたり450円を負担しています。この冊子に掲載する特集記事などはシーズン中に取材しますが、苦労も多いもののさらに

内容の充実を目指します。親睦事業のゴルフコンペは、会からの予算執行が含まれることから会員のみを参加対象として実施しました。これにより昨年よりも大幅に参加者数は減りましたが、より親睦が深まる事業へと変化し好ましく感じております。

2023～2024年度の事業予定

時期	事業名	内 容	区分
2023. 12	いわてシーハイルの発行	指導員会会員及び教育本部、競技本部関係者、県連後援会等に配布	共同
2024. 2	指導員養成事業	指導員検定会受験者への支援 事前現地練習会に要する経費の補助	単独
2024. 2. 29～3. 6	全日本S K I ・ S B 技術選手権大会補助	S K I ・ S B 岩手県選手団への財政支援事業	共同
2024. 2. 18	指導員養成事業	SB準指導員合格者への記念品提供 (S. I. J ヲッポン・シール)	共催
2024. 3. 3	指導員養成事業	SKI準指導員合格者への記念品提供 (S. I. J ヲッポン・シール)	共催
2024. 7	会員親睦事業	親睦交流ゴルフコンペ (参加対象：会員のみ)	単独
年度内	会議等の開催	・総会等各種会議の開催	単独

新役員体制 (任期：令和4年8月1日～令和6年7月31日)

役 職	氏 名	所属団体	ブロック等
会 長	吉田 尚邦	県警クラブ	
副会長	中野 新一	雫石町	
理 事	大黒 義男	一戸町	県北部
〃	立花 圭介	八幡平市	県北西部
〃	佐々木英夫	盛岡市	県央部
〃	佐々木松次	矢巾町	県央西部
〃	越後 晃一	花巻市	県央南部
〃	湯澤源一郎	北上市	県西部
〃	佐藤 悟	水沢市	県南北部
〃	阿部 眞	一関市	県南部
〃	中野 慎也	岩泉町	沿岸北部
〃	小向 健一	遠野市	沿岸南部
〃	小原 善幸	江刺市	会長推薦 (S B 担当)
〃	米澤 美子	盛岡市	会長推薦 (事務局)
〃	阿部 秀平	盛岡市	会長推薦 (事務局)
〃	石川 明	盛岡市	会長推薦 (事務局)
監 事	澤口 次雄	盛岡市	
〃	角館 光之	盛岡市	

○昨年度指導員会主催ゴルフコンペ (2023. 7. 22開催 参加者25名)



初優勝の菅原 徹さん (盛岡市)



写真左は中野新一副会長

毎回、コンペ優勝者を当てると参加料を返金するクイズを行っていますがなかなか当たらないですね。今回も当選者はゼロで～した。

【福島県】福島県スキー連盟指導員会

会長 小川 徳裕

SIJ会報（INSTRUCTOR）第39号の発行、誠にありがとうございます。昨年度から福島県指導員会会長に就任いたしました小川徳裕と申します。どうぞよろしく願いいたします。私から、福島県の活動状況について報告いたします。

令和5年度事業報告**(1) 理事会の開催**

期日：令和4年10月23日（日）
会場：猪苗代町体験交流館 学びいな 研修室

(2) イエローフォールツアーの開催

期日：令和5年2月11日（土）
会場：裏磐梯スキー場
出席者：14名

裏磐梯の磐梯山山麓に毎年出現するイエローフォールを観察し、オフピステにおける自然の中のスキー滑走を体験するイエローフォールツアーについては、これまで3月中旬に開催しておりましたが、イエローフォールは厳冬期に出現し、3月には崩落してしまうこともあるため、今後は厳冬期の2月上旬に開催することとしました。令和5年2月のイエローフォールの写真を掲載いたします。

(3) スノーボード指導員検定会受検者への支援

期日：令和5年2月23日（木）～26日（日）
会場：第2会場 新潟県ムイカスノーリゾート
受検者：2名

(4) スキー指導員検定会受検者への支援

期日：令和5年2月24日（金）～26日（日）
会場：秋田県たざわ湖スキー場（第二会場）
新潟県ムイカスノーリゾートスキー場（第三会場）
受検者：15名

(5) 全日本スノーボード技術選手権大会への支援

期日：令和5年3月2日（木）～5日（日）
会場：新潟県石打丸山スキー場
出場者：5名

(6) 全日本スキー技術選手権大会への支援

期日：令和5年3月8日（水）～12日（日）
会場：長野県八方尾根スキー場
出場者：5名

スキーインストラクターズサロンは新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため開催を中止しました。

続いて、令和6年度事業計画について報告します。

令和6年度事業計画**(1) 総会、役員会、理事会の開催****(2) 指導員会会報の発行****(3) スキー指導員検定会受検者への支援****(4) スノーボード指導員検定会受検者への支援****(5) 全日本スキー技術選手権大会出場選手への支援****(6) 全日本スノーボード技術選手権大会出場選手への支援****(7) 「福島のシュプール」第49号の発行支援****(8) スキー功労指導者・名誉検定員への顕彰認定バッジ代等の支援****(9) イエローフォールツアーの開催****(10) スキーインストラクターズサロンの開催****(11) 日本スキー指導者協会の総会・理事会への出席、及び各行事への参加**

以上、報告いたします。

私が所属する福島不忘スキークラブ（不忘の名前の由来は福島市と山形県米沢市の間にある「不忘山」からいただいたそうです）が本年で設立100周年を迎えました。

「10月には記念式典を開催するほか、記念誌の発行などを企画しております。これまでの本スキークラブの運営にご支援、ご協力をいただきました皆様へ、この場をお借りいたしまして、心よりお礼申し上げます。」



Photo 1 2023.2.11のイエローフォール
(雪に埋もれていました)

【宮城県】 宮城県スキー指導員会報告

会長 柴崎 義信

今年の夏は、まれにみる猛暑となり連日真夏日が続いていますが、宮城も例外ではありませんでした。本来、宮城の夏は「やませ」の影響もあり比較的涼しい夏ですが、今年は熱中症対策で皆さん大変な思いをされたのではないのでしょうか。

5月にコロナ感染症の位置付けが5類相当になり、様々な活動への制約がなくなりました。指導員会も令和2年度の総会以来4年ぶりに対面での総会を実施しました。本来であれば、その後に懇談会を開催し、より多くの皆様との交流の場を持つ計画でしたが、残念ながら水面下ではコロナ感染者が上昇傾向にあり、リスクがまだ残っていることから今回は見送ることにしました。

次年度は是非実施し広く情報交換をできることを期待しています。

令和5年度の宮城県スキー指導員会の事業としては、ほぼ例年通りの計画でありましたが会議や懇談会以外については無事に終了することができました。その結果について、指導員会の幹事の皆さんから意見を聞き令和6年度の事業として具体化を図ることとしました。

特に、指導員検定会場での受験者サポートを目的として教育本部が派遣していたスキー技術員に

対する助成を行ってまいりましたが、派遣そのものを指導員会の直接事業とし、より手厚くすることを今回の総会で決めさせていただきました。

受験会場で、養成講習などの指導に携わった技術員がそばに寄り添い、アドバイスができることは、受験者本人にとって心強く日頃の成果を発揮できることにつながります。昨年度の合格率はその成果もあったものと思っています。

また、今年は指導員会役員の変更時期でもありました。

幹事の若干の入れ替えはありましたが、これまでと同じ構成で次も務めさせていただくこととなりました。改めて、懸案としていました指導員会のあり方や行事等の見直しなど、コロナ禍の4年間になかなか出来なかったことに着手する時期ではないかと考えているところです。各都道府県の皆様からも貴重な意見などお聞かせいただければ幸いです。

長期予報によると11月には東北は平年気温に戻るとのこと、またいつものように雪が降り、雪上で皆様とお会いできることを楽しみにしています。

令和6年 事業計画

- 東北ブロック技術員研修会への支援 ○仙北・仙塩・仙南地区連絡協議会への講習会支援
- 宮城県スキー指導者研修会の講演協賛 ○正指導員受験者への支援 ○正指導員検定サポート技術員派遣
- 県連ゴルフ大会協賛 ○日指ゴルフ大会支援 ○東北マスターズ大会支援(基礎) ○近県指導員会との交流支援

役員および事務局（令和6年度～令和7年度）

役職	氏名	役職	氏名	役職	氏名	役職	氏名
顧問	青沼幸男	顧問	山口昭一	顧問	半沢進	顧問	高田潤一
会長	柴崎義信	副会長	保原政美	副会長	山田益広	幹事長	武田善晴
特別幹事	鹿野秀文	幹事	熊坂英登	幹事	高橋浩	幹事	渡邊正一
幹事	大宮敏夫	幹事	金洋太	幹事	相沢潔美	幹事	関本博之
幹事	石川和記	幹事	斑目和彦	幹事	新山秀夫	幹事	阿部勉
幹事	千葉秀幸	幹事	高橋洋	幹事	小嶋志朗	幹事	遠藤金生
監事	北田勲	監事	高橋秀雄	監事	片倉敏明		
事務局	山内光一	事務局	加藤豊彦	事務局	星川郁子		



指導者研修会会場 遠く太平洋を眺めての研修です



指導者研修会の一コマ

【埼玉県】 埼玉県スキー指導員会

埼玉県スキー連盟教育本部

企画委員会 副委員長（日指担当） 船戸 均

（日本スキー指導者協会 理事）

コロナ禍を経て、回復の道を探る

～ 「クール&チャレンジ」、「アクション」から「SR（スーパーリカバリー）」へ ～

新型コロナウイルスの感染症法上の分類が5月8日からそれまでの「2類」から季節性インフルエンザと同じ「5類」に引き下げられました。

この措置を受け、プロ野球、サッカー、大相撲のプロスポーツ界は既に観戦ルールなどの緩和が進んでいます。プロ以外の場でも、夏の高校野球甲子園大会での決勝での慶應高校の爆発的な応援風景は、現在の状況を象徴しています。スポーツ界だけではなく各イベント、興行等においても同様の動きです。それどころか日常の風景として街中、公共交通機関においてはマスク着用の姿は極端に減ってきています。感覚的ではありますが、マスク着用者は2割から3割程度かと思えます。試行錯誤はありながらも急速な「回復」が進んでいます。

このS1J会報36号、37号、38号と三号にわたってコロナ禍に対して冷静に向き合うことから何が出来るかの模索を、そして何かしらの行動を起こすことの必要性について触れてきました。

私たちは、コロナ禍という貴重な経験をしました。日常のすべてを「止める」ことから、冷静に「いかに止めないか」を経て「日常の回復」に、ようやくたどり着いた感があります。

さて、スノースポーツに戻します。2022年から2023年のシーズンでは、制約のもとではありますが事業を実施しました。私の担当行事では3泊4日を合宿形式ではなく分宿の形をとり、基本、雪上を含めマスク着用とし「しゃべらない、大声は出さない」懇親会非実施としました。みなさんの所、各団体も同じようであったと思います。そのような制約の中で実施したことは意義がありました。

まさに「止めない」ことの持つ意義です。当然ながら、これから到来する2023年から2024年のシーズンは「超回復」を基調としたいと思います。

もちろん、新型コロナウイルスも治療のための特効薬が整っていない現状では一定数の感染者は発生していますが、コロナ禍初期のような、死に直結するような重篤者はわずかです。海外では流行期の公共施設などを除き、マスクの装着を個人の判断に任せています。

どこまで感染リスクを負い、マスクの効用に期待するかは個人次第との考えがベースとなっています。

このことに象徴されるように欧米のスポーツ界では各種大会の開催数や入場者数は、昨シーズンの段階で「回復傾向」にあったようです。

日本国内においてもマスクの効果については学術的にも意見が分かれているようですが、これについては国を始め公共機関からの正確な情報を求めたいところですし、一年遅れとはいえ「回復傾向」にある我が国のスポーツ界の現状を見る限りスノースポーツにおいても「超回復」を目指したいところではあります。

新しいウインターシーズンを迎えるにあたって、コロナ以前の姿をイメージしつつ、引き続き「クール&チャレンジ」→「アクション」の行動はとりつつも次の「SR（スーパーリカバリー）」を目指しましょう。そのためには、乗り越えるための「回復力（レジリエンス）」が必要です。

そして、「体験する、感動する」を通じて、多くの世代のスノースポーツ愛好者の裾野を広げていければと思います。

円安、物価高に負けず、次のシーズン、皆さんと共に「超回復」を満喫したいと思います。

行事報告（埼玉県）

企画委員会担当行事

行事名	チャレンジ戸隠（1・2級講習/バッジテスト）
開催期日	令和5年1月7日（土）～9日（月・祝）
開催会場	戸隠スキー場（長野県）
参加人数	24名 1級受検9名（うち合格3名、2級受検6名（うち合格2名） エキスパート5名、シニア4名
参加状況	リピーターが多かった。前年中止としたため、楽しみにしていたという参加者がほとんどであった。
備考	新型コロナウイルス感染症の対策を講じながらの実施であったため、合宿形式はとらず分宿とし、夜のミーティングは行わなかった。来シーズンはこれらを以前の形式に戻したいと考えている。リピーターを大切にしながら、新規参加者の拡大に努めたい。このため、3級レベルの受講枠も設置することにくわえ、集客についての方策を練る必要がある。

【千葉県】 千葉県スキー指導員会

会長 小笠原 彦郎

千葉県スキー指導員会 令和6年 行事計画

1	第6回 SIC秋季親睦ゴルフ大会 1. 主催 千葉県スキー指導員会 2. 会場 新千葉カントリー倶楽部 TEL:0476-52-4341 3. 日時/募集人員 令和5年12月2日（土）/8組（32名） 4. プレイ費 11,500円（昼食付、税込み）※各自フロント払 5. 参加費 3,000円（パーティ会場集金）
2	第19回 ステップアップ講習会 1. 会期 令和6年2月3日（土）～2月4日（日） 2. 会場 シヤトレゼスキーバレー小海 3. 宿泊 シヤトレゼガトーキングダム小海（旧小海リエックスホテル） 〒384-1103長野県南佐久郡小海町松原湖高原11 TEL 0267-93-2211 4. 講師 松田富士夫（元S.A.Jナショナルデモ）他数名 5. 対象 S.A.J指導員、準指導員、1級、2級、生涯スキーリーダー 6. 申込先・問合せ先 千葉県スキー指導員会 井戸端 靖 090-3430-3522
3	第9回 シニアスキーの集い in 千葉 1. 会期 令和6年2月13日（火）～14日（水） 2. 会場 群馬県かたしな高原スキー場 3. 宿舎 片品高原ホテル 〒378-0413 群馬県利根郡片品村越本2990 TEL 0276-58-2161
4	千葉県スキー連盟からの委託事業 生涯スキーリーダー・認定スキー指導員研修会（実技）の一部 ※研修会（理論）を受講して下さい。 本研修会は「第9回シニアスキーの集い in 千葉」（指導員会主催）と同時開催 1. 主管 千葉県スキー指導員会 2. 会期 令和6年2月13日（火）～14日（水） 3. 会場 かたしな高原スキー場 4. 日程 2月13日（火）10:30～12:30 開会式/講習 2月14日（水）9:00～11:00 講習 13:30～15:30 講習 12:00～14:00 講習 15:00 閉会式
5.	申込先・問合せ先 千葉県スキー指導員会まで

【東京都】特定非営利活動法人東京都スキー指導者協会

会 長 和 田 守 義

今年の夏は、殺人的な猛暑が各地で続き、このままでは雪の降る冬は来るのか心配になるほどです。夏暑かった分冬が寒ければ、と期待したいところですが。

最近、都連所属のクラブから周年事業のご案内を頻繁に頂きます。それも創立70年、80年という非常に非常に歴史のあるクラブからのご案内が多く、設立当時の戦中、戦後の大変な時期に、スキークラブを立ち上げ仲間を募ってスキー場に行こう、というエネルギーは、凄まじいものであったらと拝察いたします。

当時に比べ現代は、交通手段、スキー用具、スキー

場設備等々格段の改善がなされ非常に恵まれた環境にあると思います。にもかかわらずスキー人口が減少している。戦後復興に掛ける意気込み、それと欧米、特にスイス、フランス、オーストリア等への憧れが、大きなエネルギーを生み出し若者をスキーへと駆り立てたのかも知れません。

今、日本は失われた20年とも30年とも言われています。何か私たちは、大きな目標を見失っているのでしょうか。出来ればスキー界から元気を発信していきたいと思います。

2023 - 2024年 行事計画

No	行 事 名	日 程	会 場	備 考
1	サマースキー	2023.8.26～27	丸沼高原 スキー場	今年度より新しく企画した行事で、夏でもスキー感覚を維持できるように工夫
2	親睦ゴルフ大会	2023.9.27	都ゴルフクラブ	オフシーズンもゴルフ等を通じて親睦を深める
3	秋の親睦会（山歩と苜採り）	2023.11 予定	木島平	山歩き足腰のトレーニングにプラスしてキノコ採りも楽しむ
4	スキー講座 検定合格のための理論講習会	2023.11.19	なかのZERO 学習室	スキー指導者としてのスキー技術の理論体系を理解・整理のための講習会を実施
5	北海道のデモと一緒に初滑り	2023.12.7～10 予定	北海道 札幌国際	北海道のデモと平日の札幌国際スキー場でパウダースノーを満喫。
6	準指検定の特別研究会Ⅰ	2024.1.13～14	菅平高原	準指検定受験にあたり1月の時点では余り種目に囚われず基本的な動作確認から研修
7	プライズテスト合格のための特別研究会	2024.1.20～21	菅平高原	プライズテスト合格のため、スキー技術をより正確で、確実なものに
8	指導員検定の特別研究会	2024.1.27～28	戸狩温泉	今年度第3会場は戸狩温泉スキー場です。ゲレンデや雪質などの状況把握を
9	プライズ・テスト	2024.2.3～4	菅平高原	日頃、研鑽を積んできた技術のレベルをこのテストで確認して最高峰を目指そう
10	コブ斜面克服特別研究会	2024.2.3～4	菅平高原	不整地滑降は、指導員検定で重要度が増しています。コツをつかんで苦手意識脱出
11	準指検定の特別研究会Ⅱ	2024.2.17～18	菅平高原	検定会直前の講習会で種目に求められる要素を正確に理解して自身をもって検定に臨む
12	準指導員検定会支援	2024.3.9～10	菅平高原	準指導員検定受験者が、リラックスして普段の力が発揮できるよう応援
13	海外スキーツアー	2024.3.16～23	カナダ	コロナ禍で中断していた海外研修ですが久しぶりの実施です。
14	春の親睦会（山菜採り）	2024.5 予定	木島平	早春の野山を巡り、地元料理と地酒でスキー談義に花を咲かせましょう

特定非営利活動法人東京都スキー指導者協会ホームページ <http://www.ski-instructors-tokyo.jp/>

NPO法人東京都スキー指導者協会



INSTRUCTOR

トップ NPO法人 実施事業 行事実施報告 参加頂いた皆様の声 行事参加お申込みとお問い合わせ ★協会会員の部屋 カレンダー

【神奈川県】 神奈川県スキー指導員会

会長 川田 光代

指導員会は会員相互の親睦とスキーの普及のため活動しています。2023年度は、3年間続いたコロナ禍の制限も解除され、指導員会フェスティバルが4年ぶりに再開されました。

トンネルを抜け出し、行事が普通に開催でき、参加された皆さんの笑顔を見すると、改めて抑圧からの解放を実感できました。

2023年度の事業として、「第42回オール神奈川スキーヤーズ大会」、「第39回指導員会フェスティバル」、「小海リエックスエンジョイスキー&バッジテストへTry」、「シャトレーゼスキーバレー小

海&ガトーキングダム小海」（ハンターマウンテン塩原と塩原温泉の旅から変更）を開催しました。

12月初旬に予定されていた「志賀高原初滑りセミナー」は、降雨と高温で雪が少なく残念ながら中止となりました。コロナ以後は温暖化による雪不足が気になるところです。一方「第103回・第104回 親睦ゴルフ大会」は春秋の2回、盛大に開催しました。

会報「指導員会だより」は第10号を発刊。各行事の詳細案内や新しい仲間の紹介などを掲載し、会員の皆さんへ発送しました。

神奈川県スキー指導員会 2023-2024行事予定

No	行 事	期 日
1	第105回記念親睦ゴルフコンペ(秋季大会)	2023年 10月 19日
2	お正月荒井拓磨講師によるLevel Up Ski キャンプ	2024年 1月 4日 - 5日
3	第43回オール神奈川スキーヤーズ大会	2024年 2月 10日 - 11日
4	シャトレーゼスキーバレー小海エンジョイスキー&バッジテストへTry	2024年 2月 15日 - 17日
5	3月シャトレーゼスキーバレー小海	2024年 3月 7日 - 9日
6	第40回指導員会フェスティバル (公財)神奈川県スキー連盟コラボ行事	2024年 3月 23日 - 24日
7	第106回記念親睦ゴルフコンペ(春季大会)	2024年 5月 16日

まわりを見ると、コロナ禍の間に身についた「三密回避」「マスク着用」、「アクリルの遮蔽版」「体温検診」などの習慣も、早くも忘れ去られたように見えます。過度な注意で委縮するより、普通の病気と位置

付けられた今、事業をしっかりと実施したいと思えます。今年度は雪上で皆さんと再会し、スノースポーツをエンジョイしましょう。

詳細は神奈川県スキー指導員会のホームページ URL <https://sik.arts-k.com>をご覧ください。



オール神奈川スキーヤーズ大会



小海リエックスエンジョイスキー



甘酒茶屋・市町村対抗



第103回記念親睦ゴルフコンペ 上野原カントリークラブ

日本スキー指導者協会

2023年度事業報告

	開催年月日	事業内容	備考
1	2022年6月～ 随時	2023年度（拡大）事務局会議（中止）	
2	2022年7月29日（土） （書面表決締切日）	2023年度 総会 書面表決 第1号議案 2022年度事業報告 第2号議案 2022年度決算報告・監査報告 第3号議案 2023年度事業計画（案） 第4号議案 2023年度予算（案）	各議案とも賛成22名 で承認された 議決権者 理事 15名 代表委員 7名 計22名
3	2022年10月1日（金）	会報第38号の発行	16頁10,000部発行
4	2022年10月9日（土）～10日（日） 参加総数38名	第29回SIJ親睦ゴルフ大会 宮城県2、福島1、 埼玉県12、千葉県7、東京都8、神奈川県 8	那須カントリークラブ
5	2023年1月6日（金）～9日（月） 参加総数4名	第22回みんなで行こうSAJスキー大学 北海道1、神奈川県1、新潟県1、佐賀県1	ルスツリゾートスキー場 ルスツリゾートホテル
6	2023年4月1日（土）～2日（日） 中止	2023SIJ懇親スキーフェスティバル（福島） 3月26日にて営業終了のため中止	箕輪スキー場 本部宿舎 ホテルエル箕輪

2023年度決算報告（2022/6/1－2023/5/31）

1. 収入の部

単位：円

科目	予算額	決算額	増減	摘要
年会費	528,500	532,000	0	
会議費	0	0	0	2022年度総会は書面表決
事業費	816,000	204,800	▲611,200	
（内訳）	20,000	4,000	-16,000	会報第38号広告料
	296,000	196,800	-99,200	第29回SIJ親睦ゴルフ大会
	20,000	4,000	-16,000	第22回SAJスキー大学企画料
	480,000	0	-480,000	2023SIJ懇親スキーフェスティバル（福島）中止
雑収入	2	4	2	銀行利息
当期収入合計 A	1,344,502	736,804	▲607,698	
前期繰越収支差額	533,063	533,063	0	
収入合計 B	1,877,565	1,269,867	▲607,698	

2. 支出の部

科目	予算額	決算額	増減	摘要
会議費	20,000	0	▲20,000	2023総会は書面表決
事業費	1,106,084	556,916	▲549,168	
（内訳）	465,000	474,330	9,330	会報38号発行 10,000部
	161,000	82,282	-78,718	第29回親睦ゴルフ大会
	84	304	220	第22回みんなで行こうSAJスキー大学
	480,000	0	-480,000	2023SIJ懇親スキーフェスティバル（福島）中止
管理費	127,520	65,999	▲61,521	
通信費	25,000	13,924	-11,076	切手、葉書、印紙購入、電報料、振込料
事務費	10,000	2,075	-7,925	資料、議事録、封筒作製
事務所借用料	10,000	10,000	0	事務所借用料
渉外費	30,000	0	-30,000	渉外費、慶弔費（弔電、生花）
ホームページ費	40,000	40,000	0	ホームページ維持費
雑支出	12,520	0	-12,520	雑支出
当期支出合計 C	1,253,604	622,915	▲630,689	
収支差額 A－C	90,898	113,889	22,991	
次期繰越金 B－C	623,961	646,952	22,991	
支出合計 D	1,877,565	1,269,867	▲607,698	

第29回SIJ親睦ゴルフ大会 実施報告書

- 2022年10月9日(日) 前夜祭(少数のため中止) 11名宿泊
- 2022年10月10日(月) 休) ゴルフ大会 那須カントリークラブ 現地受付 6時30分より
 - ①開会式 7時35分 挨拶 理事 柴崎 義信、競技説明 事務局長 藤木 昇
 - ②スタート 7時45分 アウト5組/イン5組同時スタート コース内カート乗入れ不可
 - ③表彰式 14時10分 1. 会長挨拶代行 副会長高橋 哲男 2. 成績表配布、賞品授与 順次解散 終了14時50分
前泊参加者 11名、コンペ参加者数 37名、新ペリア方式採用 プレイなし含めた総参加38名
参加県 宮城県2、福島県1、埼玉県12、千葉県7、東京都8、神奈川県8、

順位	個人戦					ベストグロス賞			
	氏名	県名	グロ	ハン	ネット	部	氏名	県名	グロ
1位	保原 政美	宮城県	83	10.8	72.2	男子	高橋 哲男	埼玉県	79
2位	佐藤 鋼三	千葉県	92	19.2	72.8	女子	石川 浩子	埼玉県	101
3位	高橋 哲男	埼玉県	79	6.0	73.0				

アトラクション賞

アトラクション	アット	氏名	県名	ハン	氏名	県名
ドラゴン	アット3	東 辰雄	埼玉県	イン12	小堺 千昭	千葉県
ゴアット	アット5	高橋 哲男	埼玉県	イン11	後藤 長助	千葉県
ゴアット	アット7	なし		イン15	後藤 長助	千葉県

団体戦(上位5名)

順位	県名	スコア
1位	埼玉県	377.6
2位	千葉県	379.6
3位	東京都	379.8

協賛(敬称略)(順不同)

那須カントリークラブ、ボーヤ株式会社

日本スキー指導者協会 会長 坂本祐之輔、副会長 高橋 哲男 顧問 榎本 勝雄、参与 長澤 光雄

宮城県スキー指導員会 会長 柴崎 義信、福島県スキー指導員会 会長 小川 徳裕、千葉県スキー指導員会 会長 小笠原彦郎、

東京都スキー指導者協会 会長 和田 守義、副会長 中澤 義昭、神奈川県スキー指導員会 会長 水島三千夫

賞品はスキー用品だけでなく、農産品などの協賛支援を賜り全員に授与する事が出来た。協賛各位にお礼を申し上げます。

14時50分に表彰式も終わり、各地に向け帰路に就いた。皆さん雨の中お疲れ様でした。

新型コロナの影響もまだある中で簡略化した開催となったが、開催できて良かったと思う。

第29回SIJ親睦ゴルフ大会



開会式 宮城県 柴崎会長



スタート前のウォーミングアップ?



ナイスショット?



最後のホールはパーにする...

第22回みんなで行こうSAJスキー大学実施報告書

日程	2023年1月6日(金)~9日(月) 4日間 旅行取扱 (株)スペース・プラン
会場	北海道ルスツリゾートスキー場
会場	ルスツリゾート・ノーツ&サウス
費用	羽田7日朝発 4日間 ノーツ&サウス 1室3名89,800円、1室2名99,800円、1室1名114,800円 航空運賃、宿泊代(3泊3朝夕食付)、新千歳空港⇄ホテル間のバス代
参加者	4名 北海道1、神奈川1、新潟1、佐賀1(所属県連で示す、住所は首都圏)
日程	1/6(金) 7:20 羽田空港集合 8:20~09:55 羽田空港発→新千歳空港到着 JAL505 11:00~13:00 新千歳空港ビッグバス→ルスツリゾート・ノーツ&サウス 各自フリー
日程	1/7(土) 9:30~開会式 10:00~ デモンストレーション 10:30~15:30 ナショナル/SAJデモによる班別実技講習
日程	1/8(日) 9:30~15:00 ナショナル/SAJデモによる志向別実技講習
日程	1/9(月) 9:30~12:30 ナショナル/SAJデモによる班別実技講習(一般講習) 12:30 閉会式(修了証授与) 16:00 新千歳空港へ 19:30~21:10 新千歳空港発→羽田空港着 ANA078

概況

1. 新型コロナ下、今年もマスク付きで3回目のスキー大学が行われた。成人の日の開催だったが、コロナにより空港、スキー場ともすいていた。天候に恵まれ、空いたスキー場を存分滑れた。

2 日目志向別班ではハイスピード、ショートターン、エンジョイ、オフピステ、に分かれた。

3 日目は班別に戻り1日目のテーマの実践的な講習となった。今年も新型コロナ感染防止からかつツアーの参加者は少なかった。



開会式



デモ風景



初日班別講習



2日目インジョイ班



3日目班別講習



閉会式

(公財)全日本スキー連盟日本スキー指導者協会

2024年度 総会議案の書面表決結果

2023年8月25日
 (公財)全日本スキー連盟
 日本スキー指導者協会
 会長 坂本 祐之輔

(公財)全日本スキー連盟日本スキー指導者協会
 2024年度総会議案の書面表決結果について

時下、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。日頃からS I Jの活動にご理解とご協力を賜り誠に有り難うございます。

さて、7月31日提出期限にて実施した2024年度総会議案の「書面表決」結果を下記のとおりご報告申し上げます

記

- 1 提出期限 令和5年(2023年)7月31日(月)
- 2 回答方法 書面表決書
- 3 結果

規約第25条による議決の結果、各議案とも可決されました。

議案	承認する	承認しない	未提出
第1号議案 2022年度事業報告	20	0	1
第2号議案 2022年度決算報告・監査報告	20	0	1
第3号議案 2023年度事業計画(案)	20	0	1
第4号議案 2023年度予算(案)	20	0	1
第5号議案 役員改選(案)	20	0	1

出席理事及び代表委員=書面表決書提出者 20名

参考(総会の議決)第25条 総会の議決は、特別に定めた事項を除き出席理事及び代表委員の過半数をもって決し可否同数の場合は議長が決するところによる。

以上

(公財)全日本スキー連盟

日本スキー指導者協会 役員名簿

任期 2023/6~2025/5

2023/9/1現在

特別顧問 丸山 庄司 長野 県
 顧問 半沢 進 宮城 県
 “ 福岡 孝純 東京 都
 “ 杉崎壽三男 東京 都
 “ 大澤 佑吉 神奈川 県
 “ 水島 秀夫 神奈川 県
 参 与 長澤 光雄 千葉 県

顧問弁護士 菅原 哲朗 キー・ソノ法律事務所

【訃報】

顧問 榎本 勝雄 2023年5月17日 逝去

顧問 坂井 和夫 2023年8月11日 逝去

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

事務局

局長 藤木 昇 神奈川 県
 規約17条3項による理事
 次 長 関根 紀光 埼玉 県
 次 長 川田 光代 神奈川 県
 局 員 滝沢 誠 東京 都
 局 員 西園 勉 神奈川 県

会 長 坂本祐之輔
 副 会 長 藤島 勝雄 北 海 道
 “ 吉田 勇夫 岩 手 県
 “ 高橋 哲男 埼 玉 県
 特別理事 欠員 S.A.J.理事
 理 事 水島三千夫 神奈川 県 理 事 長
 “ 新井 臣一 埼 玉 県 副 理 事 長
 “ 三浦 光男 北 海 道
 “ 鈴木 勲重 山 形 県
 “ 柴崎 義信 宮 城 県
 “ 小川 徳裕 福 島 県
 “ 船戸 均 埼 玉 県
 “ 小笠原彦郎 千 葉 県
 “ 和田 守義 東 京 都
 “ 大山 重彦 神 奈 川 県
 “ 藤木 昇 神 奈 川 県 規約17条3項による理事
 監 事 巻坂 伸治 千 葉 県
 監 事 下河邊元春 東 京 都
 代表委員 伊東 恵一 北 海 道
 “ 臼倉 弘高 埼 玉 県
 “ 庄司 高士 千 葉 県
 “ 芳賀 寛 東 京 都
 “ 西塚 彰 東 京 都
 “ 酒井祐一郎 神 奈 川 県
 “ 欠員 石 川 県

【事務局】 〒236-0052 神奈川県横浜市金沢区富岡西 4-43-23 TEL & FAX 045-774-8155 携帯070-5597-3118

(公財)全日本スキー連盟日本スキー指導者協会事務局 藤木 昇

ホームページURL <https://sij.arts-k.com/>

日本スキー指導者協会

2024年度事業計画

	開催年月日	事業内容	備考
1	2023年6月～ 随時	2024年度（拡大）事務局会議	
2	2023年7月31日（月） 書面表決締切	2024年度 総会 書面表決 第1号議案 2023年度事業報告 第2号議案 2023年度決算報告・監査報告 第3号議案 2024年度事業計画（案） 第4号議案 2024年度予算（案） 第5号議案 役員選任（案）	各議案とも賛成20名で承認された。★未提出1名 議決権者数21名 理事 15名 代表委員 6名
3	2023年10月1日（日）	会報39号発行	16頁 発行部数10,000部
4	2023年10月8日（日）～9日（月休）	第30回SIJ親睦ゴルフ大会 募集 50名	那須カントリークラブ
5	2024年1月5日（金）～8日（月） 未定	第23回みんなで行こうSAJスキー大学 募集 20名	朝里川温泉スキー場 小樽朝里クラッセホテル
6	2024年3月下旬か4月上旬	2024SIJ懇親スキーフェスティバル（未定） 募集 30名 現地集合・解散	スキー場 未定

2024年度 事業予算案 自2023/6/1～至2024/5/31

1. 収入の部

単位：円

科目	予算額	前年予算額	増減	摘要
年会費	532,000	528,500	3,500	
会議費	0	0	0	2023年度総会は書面表決
事業費	816,000	816,000	0	
(内訳)	20,000	20,000	0	会報39号作成 広告料
	296,000	296,000	0	第30回親睦ゴルフ大会
	20,000	20,000	0	第23回みんなで行こうSAJスキー大学企画料
	480,000	480,000	0	2023SIJ懇親スキーフェスティバル（会場未定）
雑収入	2	2	0	銀行利息
当期収入合計 A	1,348,002	1,344,502	3,500	
前期繰越収支差額	646,952	533,063	113,889	
収入合計 B	1,994,954	1,877,565	117,389	

2. 支出の部

科目	予算額	前年予算額	増減	摘要
会議費	0	0	0	2024年度総会 ※書面表決
	20,000	20,000	0	拡大事務局会議
事業費	1,106,084	1,106,084	0	
(内訳)	465,000	465,000	0	会報39号 10,000部
	161,000	161,000	0	第30回親睦ゴルフ大会
	84	84	0	第23回みんなで行こうSAJスキー大学経費
	480,000	480,000	0	2023SIJ懇親スキーフェスティバル（会場未定）
管理費	127,520	127,520	0	
(内訳)通信費	25,000	25,000	0	切手、葉書、印紙購入、電報料、振込料
事務費	10,000	10,000	0	資料、議事録、封筒作製
事務所借用料	10,000	10,000	0	事務所借用料
渉外費	30,000	30,000	0	渉外費、慶弔費（弔電、生花）
ホーム・ジツ費	40,000	40,000	0	ホーム・ジツ維持費
雑支出	12,520	12,520	0	雑支出
当期支出合計 C	1,253,604	1,253,604	0	
収支差額 A-C	94,398	90,898	3,500	
次期繰越金B-C	741,350	623,961	117,389	
支出合計 D	1,994,954	1,877,565	117,389	

事務局だより

S. I. J. 事務局は、会の実態に合わせた行事企画と準備、実施に向かって現地との打ち合わせなど、総会で決定した内容の実行を行って参りました。

この2～3年はコロナ禍の為、思うような活動が出来ませんでした。正副会長、正副理事長とのメールや電話連絡による運営方針の決定で、理事会は中止、総会は書面表決書（ハガキ）による表決になりました。

事業企画立案なども従来の踏襲となるしかありませんでした。皆様と直にお会いしたいものです。広報としては、会報の企画編集、寄稿依頼と手作り発行、広告スポンサーの募集、執行内容のホームページへの掲載維持等です。ホームページは会報と共に全国のスキー指導者の連携と一体感をかもし出すために重要な要件と考えています。是非皆様の投稿やニュース寄稿、ご意見の提供をお願い致します。

本部事務局は当面、横浜の藤木が窓口として業務を行っています。

事務局員の担当は下記のようになっています。

事務局長（理事）	藤木昇（神奈川県）	：総括・経理担当 総務担当
事務局次長	川田光代（神奈川）	：局長補佐
事務局次長	関根紀光（埼玉）	：広報担当
事務局員	滝沢誠（東京）	
事務局員	西園勉（神奈川）	

会費納入のお願い

日本スキー指導者協会の運営は、全国各県の指導員会組織(SAJの各県連組織を含む)からの会費が基本になっております。

皆様から頂く約53万円の年会費は全国の指導員への情報提供とコミュニケーションの場であるこの会報の発行とホームページの維持に殆んど費やされています。

また滞納気味の県もあり当会の運営は財政的に非常に苦しい状況です。このような事情から誠に勝手ながら、本年度の会報発行に合わせ、会費未納の各県の指導員会事務所様に請求書をお届けさせて頂きますので、何とぞ年度納付にご協力頂きたく切にお願い申し上げます。

事務局長 藤木昇

会費振込口座 みずほ銀行八重洲口支店 普通 2544124 日本スキー指導員会事務局

個人会員募集

年会費は1,000円となっています。

現在、次の府県の団体は加盟しておりませんので

個人会員として入会ご希望の方は、事務局長までご連絡ください。

◎青森県、◎秋田県、◎栃木県、◎茨城県、◎群馬県、◎新潟県、◎山梨県、◎愛知県、◎福井県

◎西日本ブロック (=SAJのブロックに同じ)

S.I.J.のホームページ <https://sij.arts-k.com/> へ是非お越し下さい。

《編集後記》

異常気象が続く昨今、銀世界は戻ってくるのか？、スキーシーズンが訪れることを祈願しています。皆様にお会いできる日を楽しみに……。M記

編集委員 藤木 昇、関根紀光、川田光代、滝沢 誠、西園 勉、水島三千夫

2023年度 関係団体一覧

北海道	0133-74-9270	三浦光雄様方
青森県	0172-48-3490	一般財団法人青森県スキー連盟内
岩手県	019-656-6655	一般財団法人岩手県スキー連盟内
秋田県	018-893-6832	秋田県スキー連盟内
宮城県	022-799-7200	宮城県スキー連盟内
山形県	023-647-5020	山形県スキー連盟内
福島県	0242-62-4504	福島県スキー連盟内
群馬県	027-231-1966	群馬県スキー連盟内
栃木県	028-665-9111	栃木県スキー連盟内
埼玉県	048-853-2710	埼玉県スキー連盟内
茨城県	029-221-7737	茨城県スキー連盟内
東京都	03-3262-2491	一般財団法人東京都スキー連盟内
神奈川県	045-311-8907	公益財団法人神奈川県スキー連盟内
千葉県	047-751-2100	千葉県スキー連盟内
新潟県	0258-82-1680	公益財団法人新潟県スキー連盟内
長野県	026-264-5888	公益財団法人長野県スキー連盟内
山梨県	090-7401-3322	NPO法人山梨県スキー連盟内
富山県	076-442-3110	富山県スキー連盟内
石川県	076-273-3543	石川県スキー連盟内
福井県	080-6761-4710	福井県スキー連盟内
岐阜県	0577-34-3133	岐阜県スキー連盟内
愛知県	052-757-6277	公益社団法人愛知県スキー連盟内
静岡県	0545-64-1330	静岡県スキー連盟内
三重県	059-328-5673	三重県スキー連盟内
滋賀県	077-578-0945	滋賀県スキー連盟内
京都府	075-692-3487	京都府スキー連盟内

大阪府	06-6975-2064	大阪府スキー連盟内
兵庫県	0796-20-3735	兵庫県スキー連盟内
奈良県	0743-67-0760	奈良県スキー連盟内
和歌山県	0736-63-0635	和歌山県スキー連盟内
岡山県	086-801-9090	岡山県スキー連盟内
広島県	082-293-3230	広島県スキー連盟内
鳥取県	0859-52-2290	鳥取県スキー連盟内
島根県	090-8998-1110	島根県スキー連盟内
山口県	083-927-9655	山口県スキー連盟内
高知県	088-841-5361	高知県スキー連盟内
愛媛県	090-1326-5830	愛媛県スキー連盟内
香川県	0875-54-2479F	香川県スキー連盟内
徳島県	090-8985-7664	徳島県スキー連盟内
福岡県	092-262-1550	福岡県スキー連盟内
熊本県	090-3196-5473	熊本県スキー連盟内
大分県	0973-79-3056	大分県スキー連盟内
佐賀県	090-1875-2521	佐賀県スキー連盟内
宮崎県	080-3961-1326	宮崎県スキー連盟内
鹿児島県	090-4344-6541	鹿児島県スキー連盟内
沖縄県	info@skioki.com	沖縄県スキー連盟内
長崎県	0956-59-2127	長崎県スキー連盟内
公益社団法人全日本学生スキー連盟 03-3384-7913		
公益財団法人全国高等学校体育連盟スキー専門部 0255-72-7931		
公益財団法人全日本スキー連盟 教育本部 東京都新宿区霞ヶ丘町4番2号 03-5843-1525		



税込 ¥6,276 → ¥4,400



税込 ¥9,320 → ¥6,320

税込 ¥7,181 → ¥5,030

BOYA

boya-iezumii@cure.ocn.ne.jp

090-8450-4292

担当: 家住(イエズミ)



税込 ¥8,428 → ¥5,900





INSTRUCTOR

日本スキー指導者協会会報 (第39号) (非売品) 2023年10月1日発行
 編集人 編集委員会 発行人 坂本 祐之輔
 印刷所 水戸屋紙工株式会社
 発行所 日本スキー指導者協会事務局
 〒236-0052 神奈川県横浜市金沢区富岡西 4-43-23
 TEL & FAX 045-774-8155 E-mail nobfjk@b03.itscom.net
 URL https://sij.arts-k.com/